

インドネシア
ラジオ・テレビ放送訓練センター
プロジェクト
概 要 説 明

Multi Media Training Centre
-Radio Television Broadcasting
Training Centre-

(MMTC-BTC)

1992年6月

インドネシア共和国情報省

国際協力事業団

目 次

| 項 目 | 頁 |
|--|-----|
| I インドネシアのラジオ・テレビ放送事情 | |
| (1) インドネシアの放送と ラジオ・テレビ放送訓練センター開設までの経緯 | 71 |
| (2) ラジオ放送の現状 | 72 |
| (3) テレビ放送の現状(国営放送) | 73 |
| (4) TVRI以外のテレビ放送の現状 | 74 |
| II M M T C - B T C | |
| (1) 無償協力 | 75 |
| (2) 追加無償協力 | 75 |
| (3) 技術協力 | 76 |
| III 組織及び施設 | |
| (1) M M T C 組織図 | 77 |
| (2) M M T C 施設図 | 78 |
| (3) M M T C 施設配置図(1階及び2階) | 79 |
| IV 資 料 | |
| (1) D I コース実施状況 | 84 |
| (2) D II コース実施状況 | 86 |
| (3) D III コース実施状況 | 87 |
| (4) M M T C ・ D I コース実施状況表 | 88 |
| (5) M M T C ・ 訓練コース実施計画表(D I 、D II 、D III コース) | 89 |
| (6) ディブマコース以外の訓練実施状況表 | 92 |
| (7) 長期専門家派遣実績表 | 93 |
| (8) 短期専門家派遣実績表 | 94 |
| (9) 日本でのカウンターパート研修状況(1)～(3) | 95 |
| (10) M M T C 職員数推移表 | 98 |
| (11) 1991年度M M T C 職員数及び教官数 | 99 |
| (12) M M T C 『イ』側予算推移表 | 100 |
| (13) 日本側負担ローカルコスト推移表 | 101 |
| (14) ラジオ・テレビ放送訓練センタープロジェクト実績線表 | 103 |

I インドネシアのラジオ・テレビ放送

(1) インドネシアの放送とラジオ・テレビ放送訓練センター開設までの経緯

インドネシア共和国は、1万3667の島々（うち有人島約六千、総陸地面積約192万km²は日本の約五倍）、東西5千km、南北2千kmに亘る（イギリスからイラン、またはアメリカ合衆国の太平洋岸から大西洋岸までに匹敵する）大群島国家である。また、総人口1億8千万人（世界第5位）、ジャワ人を始めとする300以上の民族が独自の言語や固有文化を保ちつつ一つの統一体を形成している多民族多言語国家でもある。さらに、16世紀の香料貿易に端を発する約350年間の主としてオランダによる植民地支配から、第二次大戦後やっと独立を勝ち取ったが、まだ近代化が遅れ、膨大な外債にも悩みながらも、国家近代化を目指して努力を続けている若い国家である。

この近代化という目標達成の為にインドネシア政府が最も力を注いでいるのが、情報伝達手段、とりわけラジオ・テレビの電波メディアである。ラジオ・テレビの持つ速報性、同時性、広域性などは、民族と国家の統一、民生の安定、知識の啓蒙、国語であるインドネシア語の普及、教育水準の高度化などに欠くべからざるものである。

その発展の歴史を振り返ってみると、まずラジオに関しては、オランダ植民地時代に既に放送を開始しており、1945年8月17日スカルノ初代大統領の共和国独立宣言を真っ先にインドネシア全土に伝えたのもラジオ放送であった。

一方テレビは、1962年当時のスカルノ政権が、地元で開催された第4回アジア・オリンピック大会がインドネシア民衆に対し民族精神の高揚（インドネシア国民としての自覚の確立）となることを願って、日本のNHKの協力のもと国営放送機関 Televisi Republik Indonesia（略してTVRI）を発足させ、全国中継放送した。本放送は翌63年1月1日から開始された。

そして1976年、国内通信衛星“バラバ”の打上げにより、広域島嶼国家として悲願だったラジオ・テレビ放送回線網の全国的整備をほぼ達成した。

インドネシアのラジオ・テレビ放送は、総て情報省（Departmen Penerangan）ラジオ・テレビ・映画総局のラジオ局、テレビ局の管轄下にある。放送番組は、国営のRRIとTVRIより供給しているのが主体であるが、ラジオには早くから中波、FM波の商業コマーシャルのローカル局等が多数出来、テレビにも1989年3月よりジャカルタにRCTIが開局したのを契機として各地に民間局が出来つつある。

一方こうした放送施設面の改善に対し、放送従事者中、専門学校以上の教育を受けた者10%前後、管理運営面での様々な問題の多発等、放送実施要員の育成面の遅れを痛感したインドネシア政府は、72年‘ラジオ・テレビ放送訓練センター’設立の検討を開始、79年9月日本政府にセンター設立の正式要請書を提出、83年10月21日プロジェクト方式技術協力の実施協議書(Record of Discussion)を調印した。こうして、日本の無償資金協力によるラジオ・テレビ放送訓練センター……インドネシア側が Multi Media Training Centre（略してMMTC）と呼称する……が85年7月31日、スハルト大統領臨席の下、放送に関する3年制アカデミーとして開所された。

(2) ラジオ放送の現状

実施主体は国営放送RRI (Radio Republik Indonesia)である。1945年の発足から1970年代前半までは短波帯での放送だったが、1969年からの「放送網拡充計画」で中波帯への移行計画が発案され、1976年からは全国の主要都市周辺で中波放送が開始されたが、熱帯雨林、山間地帯、離島等へは電力事情関係から従来通り短波という、中波・短波併用の放送体制が取られている。

また、首都ジャカルタと主要都市の間には国内通信衛星「バラバ」と約200局の中継所を利用したネットワークが形成されていてニュース等の広域同時速報が可能となっている。現在イリアンジャヤの3局を除いて一日24時間放送を実施している。

また、RRIは「インドネシアの声」(The Voice of Indonesia, または Suara Indonesia) という国際放送を短波で実施している。

☆ラジオ局配置 (1988年度末時点)

| | | |
|------------------|-----|---|
| 中央放送局 | 1局 | ジャカルタ |
| ヌサンタラ局 (地方本部) | 5局 | メダン、ジョグジャカルタ、バンジャンマシン ウジュンパンダン、ジャヤブラ |
| ローカル局 | | |
| リージョナルI | 26局 | 各州地方庁所在都市 |
| リージョナルII | 17局 | 州都意外の大都市 |
| 合計 | 49局 | この49局は演奏所と付属送信所をもっている。 |

☆RRI以外のAM/FM放送局 (小電力 300W以下)

| | |
|----------------------------------|------|
| 商業放送局 (Commercial Radio Station) | 479局 |
| 自治体放送局 (Municipal Station) | 133局 |
| その他 | 5局 |
| 合計 | 617局 |

(内FM局: 42局、1989年4月時点)

☆RRIの放送系統

| 放送統制 | 電波種別 | 24時間/日 | | | |
|-----------------------------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| *全国放送 (Radio National-1) | MW/SW/FM | } 24時間/日 | | | |
| *首都圏放送 | MW/FM | | | | |
| *海外放送 (WIB) | SW | | | | |
| 10言語 | インドネシア語 | 9:00-10:00 | 19:00-20:00 | 22:00-22:30 | |
| 週間77時間 | 英語 | 8:00-9:00 | 15:00-16:00 | 18:30-19:00 | |
| 250kW | アラビア語 | 14:00-15:00 | | 日本語 | 20:00-21:00 |
| (ジャカルタ局、 ワラント) | ル-語 | 16:00-17:00 | | 仏語 | 23:00-24:00 |
| | 中国語 | 17:00-18:00 | | 独語 | 7:30-8:00 |
| | タイ語 | 18:00-18:30 | | 西語 | |

| | | | |
|------------------|-----|-----|-----|
| ☆番組編成比率: ニュース、広報 | 25% | 教育 | 20% |
| 教養、文化、娯楽 | 45% | その他 | 10% |

☆想定受信機台数 3500万台

受信可能区域 (居住地域に対する比率) 88.1%

☆88/89年度予算 187億ルピア (約13億円、総額国庫補助)

☆受信料は徴収していない (広告放送は行っている)

☆職員総数 (情報省ラジオ・テレビ・映画総局、ラジオ局) 8,335名 (90年3月末)

(3) テレビ放送の現状(国営放送)

国営テレビ放送は、1962年第4回アジア・オリンピック大会の全国中継放送から出発、63年10月に一旦公共企業体となった後、66年より情報省管轄下の Televisi Republik Indonesia (略してTVRI) となった。76年からはPAL方式によるカラー放送を開始。広告放送は一時行われたが81年4月禁止された。1969年からの「放送網拡充計画」では放送メディア利用の教育の普及が計画され、これに基づいてテレビ放送網の全国的な整備拡充計画が実施された。また76年からは国内通信衛星「パラバ」を経由したテレビジョン伝送回路網がインドネシア全土に形成され、テレビ受像機も急速に普及した。

全国9局のリージョナル局では一日約2時間の自主制作番組を流し、それ以外はジャカルタからの信号を放送素材として一方的に受信するダウン・リンクのみの運用であるため放送機関としての機動性にはいま一步の感がある。

☆TVRIの放送局は次の通りである。(1989年度末時点)

| | | |
|---------|--------|---|
| 中央放送局 | 1局 | ジャカルタ |
| リージョナル局 | 9局 | メダン、パレンバン、バンドン、ジョクジャカルタ、スラバヤ、デンバサール、ウジュンパンダン、メナド、バリックパン |
| MPU局 | 8局 | パンダアチェ、パダン、スマラン、クバン、ボンディアナック、アンボン、バンジャルマシン、ジャヤブラ |
| 基幹送信所 | 45局 | |
| 中継送信所 | 209局 | |
| 合計 | 番組制作拠点 | 18局 |
| | 送信所 | 254局 |

☆TVRIの放送系統と週間放送時間(92年4月現在)

| 放送系統 | 電波種別 | 週日 | 日曜/祭日 | 週間放送時間 |
|---------------------------|-----------|-------------|------------|--------|
| *全国放送 (TV National1-1) | VHF, CH-6 | 14:30-24:00 | 7:00-24:00 | 74時間 |
| *首都圏放送 | VHF, CH-8 | 16:30-21:30 | 同左 | 35時間 |

☆番組編成比率：ニュース、広報 27% 教育、宗教 24%
教養、文化、娯楽 47% その他 2%

☆自主制作率 80% (その他海外もの 20%)

☆職員総数(情報省テレビ・ラジオ・映画総局、テレビ局) 5,381名(89年3月末)

☆91/92年度予算 1200億ルピア(内訳 受信料収入70%、政府補助4%、RCTI他21%)

☆登録受信機台数(国家開発予算局まとめ) 1,100万台

受信可能地域 35% (居住地域に対する比率:65%)

★国営テレビTVRIの受信料(ルピア、月額、92年2月より)

| | 16インチ未満 | 16~19インチ | 20インチ以上 |
|--------|---------|----------|---------|
| 白黒テレビ | 1,000 | 3,000 | 3,000 |
| カラーテレビ | 4,000 | 5,000 | 6,000 |

注：1. 91年受信料収入 830億ルピア(約52億円)

2. '91/2/18より民間請負戸別訪問集金方式に変更(以前は郵便局窓口)。

3. モノクロ/カラーの比、3:1でモノクロが多い。収入比は50:50。

4. 未契約者数は、契約者数と同数または倍との観測あり。

5. その他RCTI、SCTV、TPIより250億ルピア受取。

(4) TVRI以外のテレビ放送の現状

TVRIのほかに商業テレビ局としては、RCTIがジャカルタに、SCTVがスラバヤに、商業教育テレビ局としてTPIがジャカルタに開局し放送業務を行っている。その他、個人でバラボナアンテナ（全国で約12,000台普及）を設置し、タイやマレーシア、アメリカの衛星放送を受信している聴視者もいる。

☆RCTI (PT Rajawali Citra Televisi Indonesia)

1989年8月24日インドネシア史上初めての商業テレビRCTI（大鳥映像テレビの意味）が正式に放送を開始した。放送地域はジャカルタ、バンドン地区のみ。（バラボナアンテナを用いれば全国）当初はスクランブル方式の有料テレビであったが、今はスクランブルは外された。制度上は情報省枠内の活動であって、私企業でありながら許認可の点では未整理である。情報大臣は向こう3年間、収入の15～25%をTVRIへ納めることを義務付けている。目下、放送法を整備中。経営の財源は広告。日常運営の要員、特にエンジニアはTVRIの定年退職者が主力。

☆放送状況（92年2月現在）

| 放送局 | RCTI (PT Rajawali Citra Televisi Indonesia) | SCTV (Surabaya Centra Televisi) | TPI (Televisi Pendidikan Indonesia) |
|------|--|--|--|
| 放送開始 | 1989. 03. (試験放送 88. 11～) | 1990. 02. 01 | 1991. 01. 23 |
| 放送地域 | ジャカルタ、バンドン | スラバヤ、バリ | 全国ネット |
| 電波種別 | UHF 50kW, 半径60km (米製2台、91. AUGより パワ衛星使用権獲得) | UHF (7xリ複製) | VHF (TVRIのチャンネル借用) |
| 放送時間 | 週日 | 12:00 - AM 1:40 | 12:00 - AM 0:50 |
| | 土 | 8:00 - AM 3:10 | 8:00 - AM 3:10 |
| | 日 | 7:00 - AM 1:30 | 7:00 - AM 1:10 |
| | 祭日 | 7:00 - AM 1:10 | 7:00 - AM 1:10 |
| 週間合計 | 106時間 | 101時間 | 48時間 |
| 番組構成 | 報道 | 10% | 30% |
| | 娯楽 | 55% | 50% |
| | 教育 | 20% | --- |
| | ほか | 15% | 20% |
| 社長 | Bambang Trihatmadjo, (大統領の次男) | M. Nur | Siti Hardiyanti Rukmana (大統領の娘) |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 専務以下アメリカ人、フィリピン人といわれている。 ステレオ放送実施 ニュースはTVRIのを同時中継。 殆どはアメリカの素材 | <ul style="list-style-type: none"> ステレオ放送実施 ニュースはTVRIより同時中継。 | <ul style="list-style-type: none"> 教育番組は教育文化省提供（アメリカで吹替え等行っている） 将来は単独ネットワーク、12時間体制。 TVRIに広告収入の20%支払う。 |

II MMT C—BTC

(1) 無償資金協力援助

インドネシア政府は放送網拡充に伴う放送要員の訓練養成拡充を計画、ラジオ・テレビ・映画を含むマルチ・メディア訓練センターの設立とこれにかかわる技術協力を1979年9月日本政府に要請してきた。これに対し日本側は、ラジオ・テレビ放送訓練面の協力を引受け、81年1月26日～2月6日事前調査を実施、82年8月20日無償資金協力の交換公文(E/N)をインドネシア政府と交わし、1年制職員訓練センターとして施設建設及び機材の据付を開始し(83年3月27日E/N延長措置)、1984年6月施設完工、1985年7月31日スハルト大統領出席のもと開所式が執り行われた。

施設の規模等は下記の通りとなっている。

| | | | |
|--------|-----------------|--------------|------------|
| 無償供与 | | | |
| 総額18億円 | 内訳 | (1) 建物 | 約7.0億円 |
| | | (2) 研修用放送機器 | 約9.0億円 |
| | | (3) コンサルタント料 | 約1.6億円 |
| 建物面積 | 5,495㎡(約1,665坪) | | |
| | 内訳 | テレビスタジオ | 264㎡(約80坪) |
| | | ラジオスタジオ | 104㎡(約32坪) |

なお、インドネシア側投入実績は、下記のとおりである。

| | | |
|-----------|----------------------------|-----------------------------|
| 経費 | 総額13億円 | |
| 建物面積 | 5,723㎡(約1,734坪) | 講堂、図書館、食堂、宿泊施設等 |
| MMTC総敷地面積 | 69,462㎡(約21,049坪) | |
| | 内訳 | 前面(研修施設分) 37,515㎡(約11,368坪) |
| | 後面(宿泊施設分) 31,947㎡(約9,681坪) | |

(2) 追加無償資金協力

当初MMTCは、放送事業従事者に対し基礎知識を授け実務訓練を行う一年制職員訓練センターとして設立された。しかし、中堅幹部候補育成の急務を痛感したインドネシア政府は開所式前日に大統領令を發布、急速MMTCをディプロマを与える正式な教育訓練機関すなわち3年制アカデミーに昇格させた。このことは、D I (ディプロマIの略で、1年生に当たる。以下D II、D IIIは2、3年生に当たる)はなんとか実施できても、D II、D IIIに至っては現状のMMTCの設備では実施困難な状況であり、急務を要する中堅幹部候補の育成が充分に行えない事を意味する。係る背景の元インドネシア政府は、MMTCの設備及び機材の拡充の為の追加無償資金協力を日本に要請、これを受け日本側は、89年4月事前調査、90年12月28日無償資金協力の交換公文E/Nをインドネシア政府と調印、91年5月より工事を開始した。92年2月工完、同月29日ハルモコ情報省大臣、國廣大使出席の下、インドネシア側に引き渡された。

以下に本追加無償施設の概要を示す。

| | | | |
|-----------|---------------|--------------|-------------|
| 無償供与(追加分) | | | |
| 総額8.3億円 | 内訳 | (1) 建物 | 約3.1億円 |
| | | (2) 研修用放送機器 | 約4.5億円 |
| | | (3) コンサルタント料 | 約0.7億円 |
| 建物面積 | 1,485㎡(約450坪) | | |
| | 内訳 | 視聴覚教室ブロック | 266㎡(約81坪) |
| | | スタジオブロック | 507㎡(約157坪) |
| | | 基礎技術実習ブロック | 234㎡(約71坪) |

なお、インドネシア側負担は下記のとおりである。

| | | | |
|----|---------|--------|--------|
| 経費 | 総額220万円 | | |
| | 内訳 | 敷地準備工事 | 約40万円 |
| | | 基幹整備工事 | 約180万円 |

(3) 技術協力

MMTC-BTC以前から、放送に関する対インドネシア技術協力の歴史は長い。1962年の放送開始は、アジア大会のために派遣されたNHK職員によって行なわれたし、その後も1965年9.30の動乱期の一時期を除き、一貫してNHKへのTVRI技術者の派遣研修が行なわれてきた。また、短波から中波への切替計画、及びTVの拡充計画の策定のため、1971年から75年まで情報省に専門家チームが派遣された。

MMTC-BTCについては、次のような経過をたどって専門家チームが派遣された。

| | | |
|------------|--------------|------------------------|
| 1982年6月 | 事前調査 | |
| 1983年8月 | 長期調査員による調査 | |
| 1983年10月 | 実施協議 (R/D調印) | : 1年制職員訓練センター確立の指導 |
| 1984年5-7月 | 専門家派遣開始 | |
| 1985年7月30日 | 大統領令 59号、60号 | : 3年制アカデミーに計画変更 |
| 1988年10月 | 2年間の延長に入る | : D I完成とD II, D IIIの準備 |
| 1990年10月 | 2年間の再延長に入る | : D IIとD IIIの準備 |

長期専門家チームの構成について

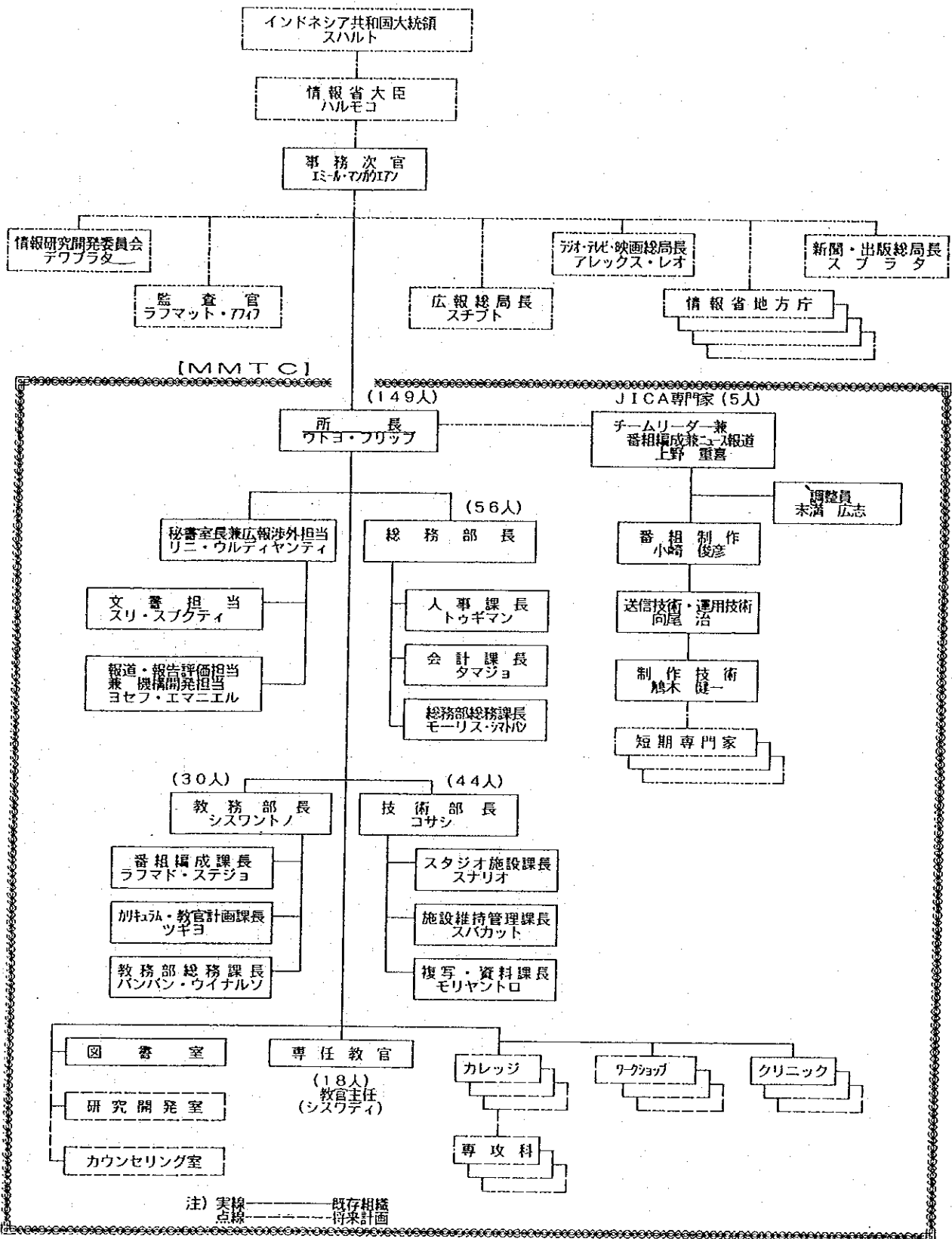
①1984年から1988年10月の1回目の延長に入るまで専門家6名、調整員1名の計7名、担当分野は次のとおりであった。

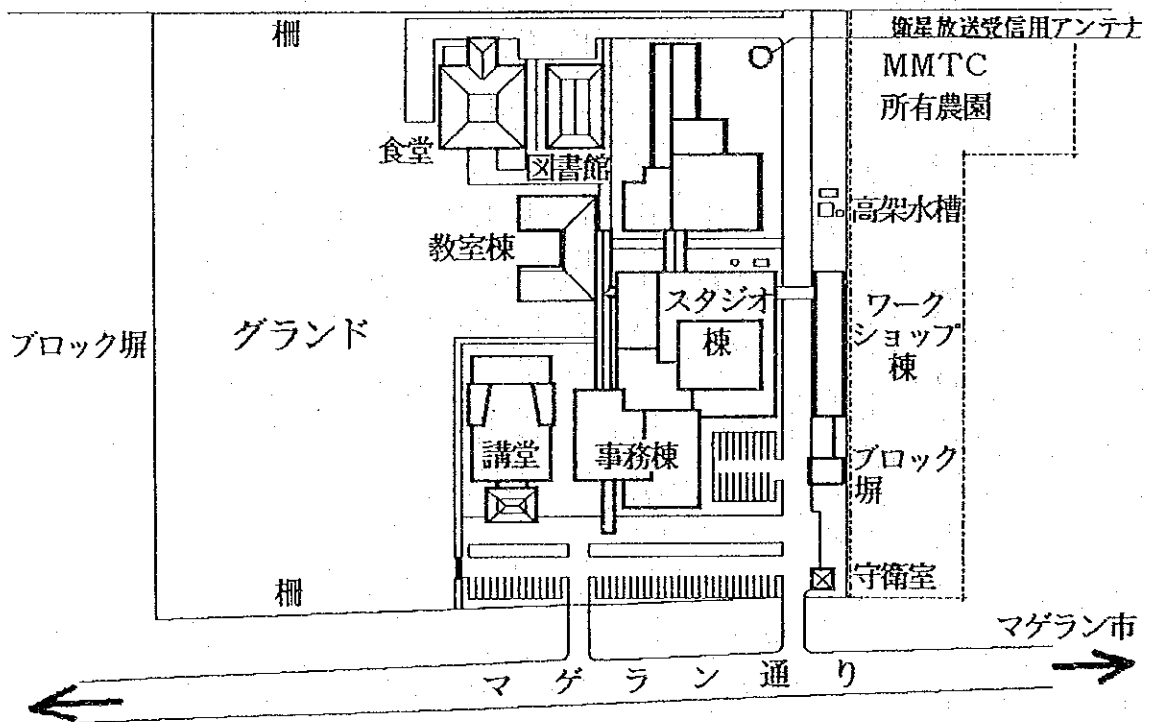
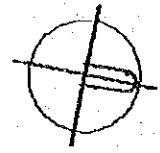
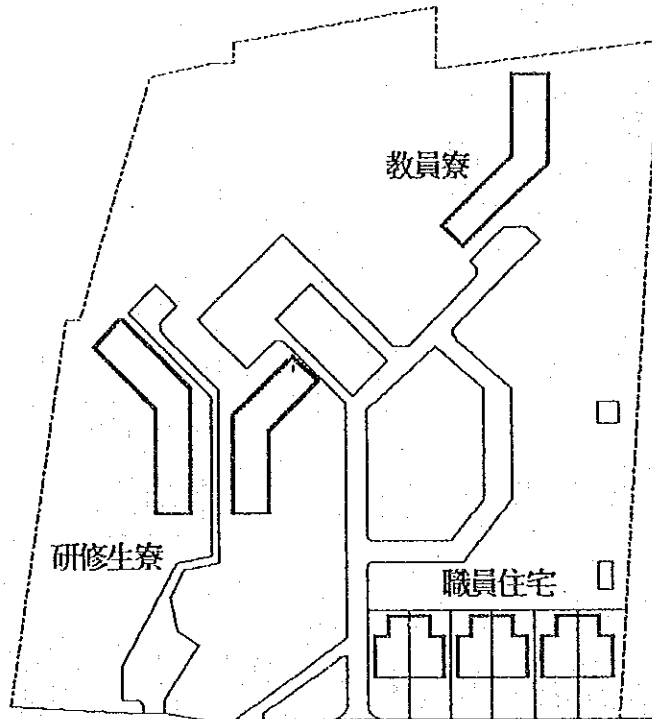
- (1) 番組編成 (PROGRAM COMPILATION ; 1989年10月までは、チームリーダー兼任)
- (2) 番組制作 (PROGRAM PRODUCTION)
- (3) 報道 (NEWS REPORTING)
- (4) 制作技術 (PRODUCTION ENGINEERING)
- (5) 運行技術 (MASTER CONTROL & POST PRODUCTION)
- (6) 送信技術 (TRANSMITTER ENGINEERING)
- (7) 調整員 (COORDINATOR)

②1988年10月(1回目の2年間の延長)より専門家が2名減となり、現在まで専門家4名、調整員1名の計5名である。

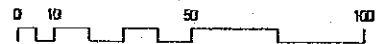
- (1) 番組編成及び報道 (PROGRAM COMPILATION, NEWS REPORTING ; チームリーダー兼任)
- (2) 番組制作 (PROGRAM PRODUCTION)
- (3) 制作技術 (PRODUCTION ENGINEERING, MASTER CONTROL)
- (4) 送信技術及運用技術 (TRANSMITTER ENGINEERING & POST PRODUCTION)
- (5) 調整員 (COORDINATOR)

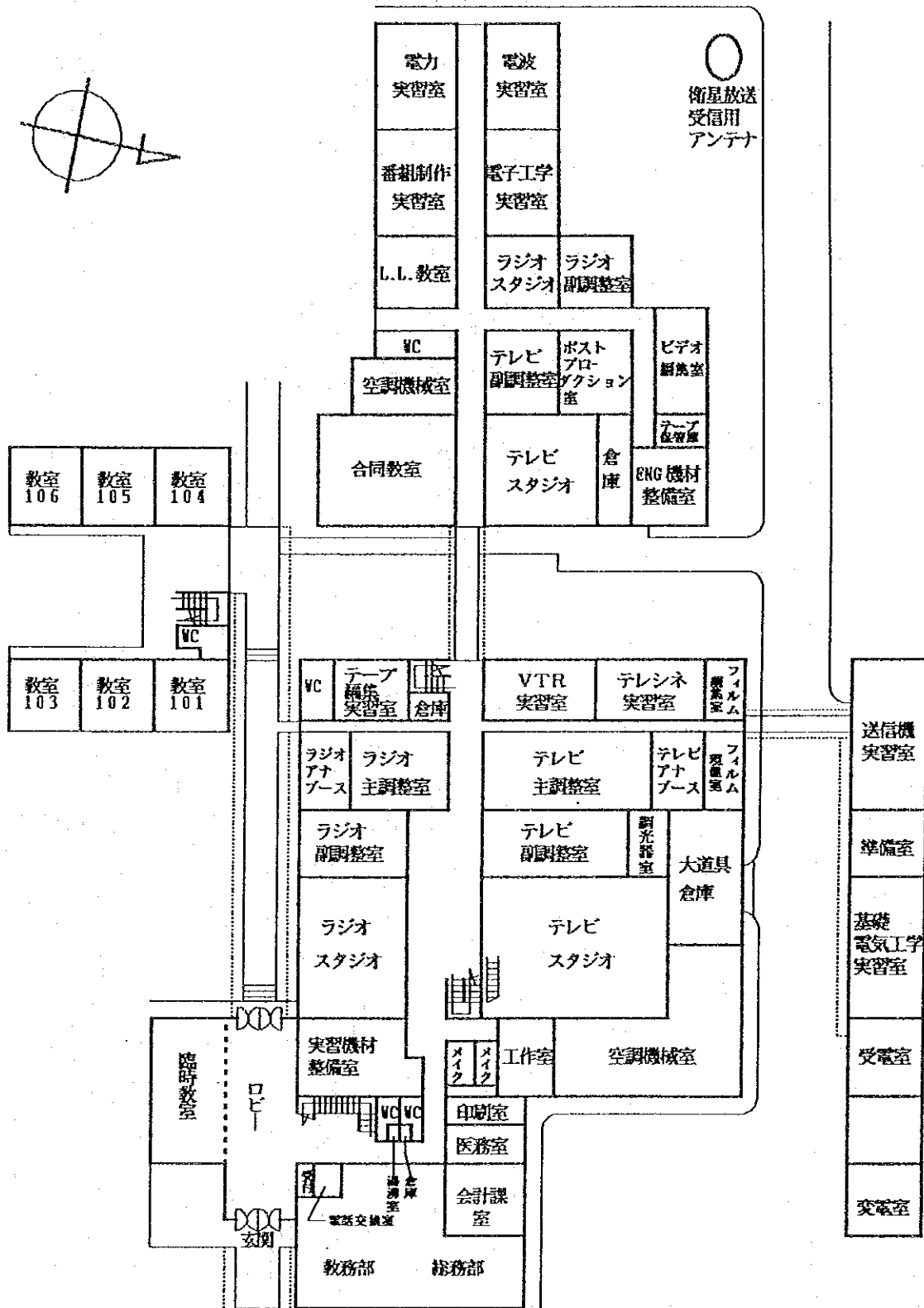
その他必要に応じて短期専門家派遣による指導を行っている。



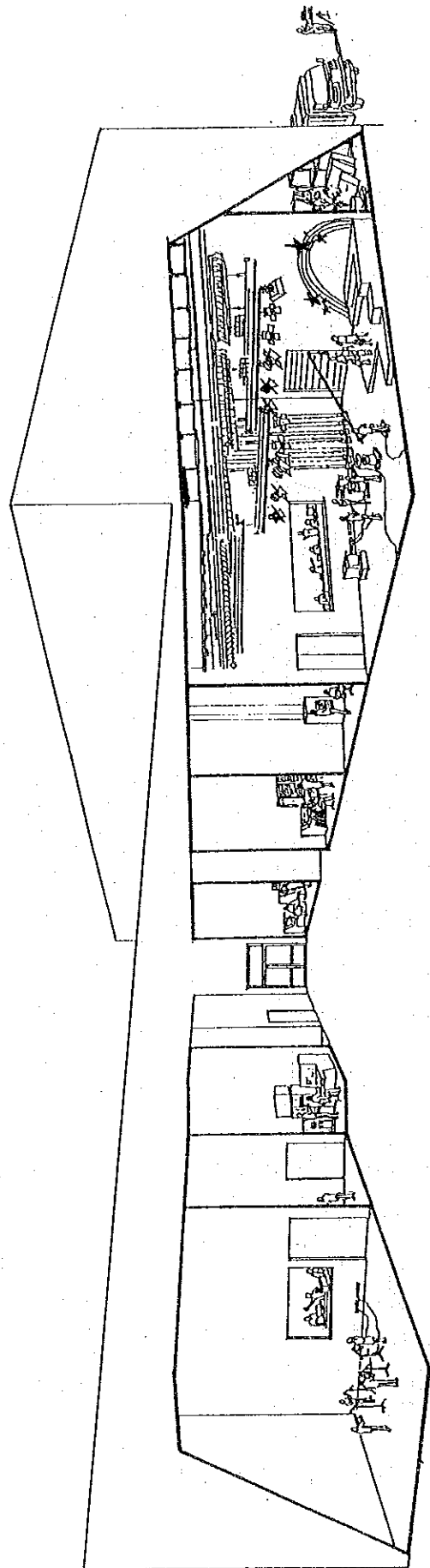


ジョグジャカルタ市中心部





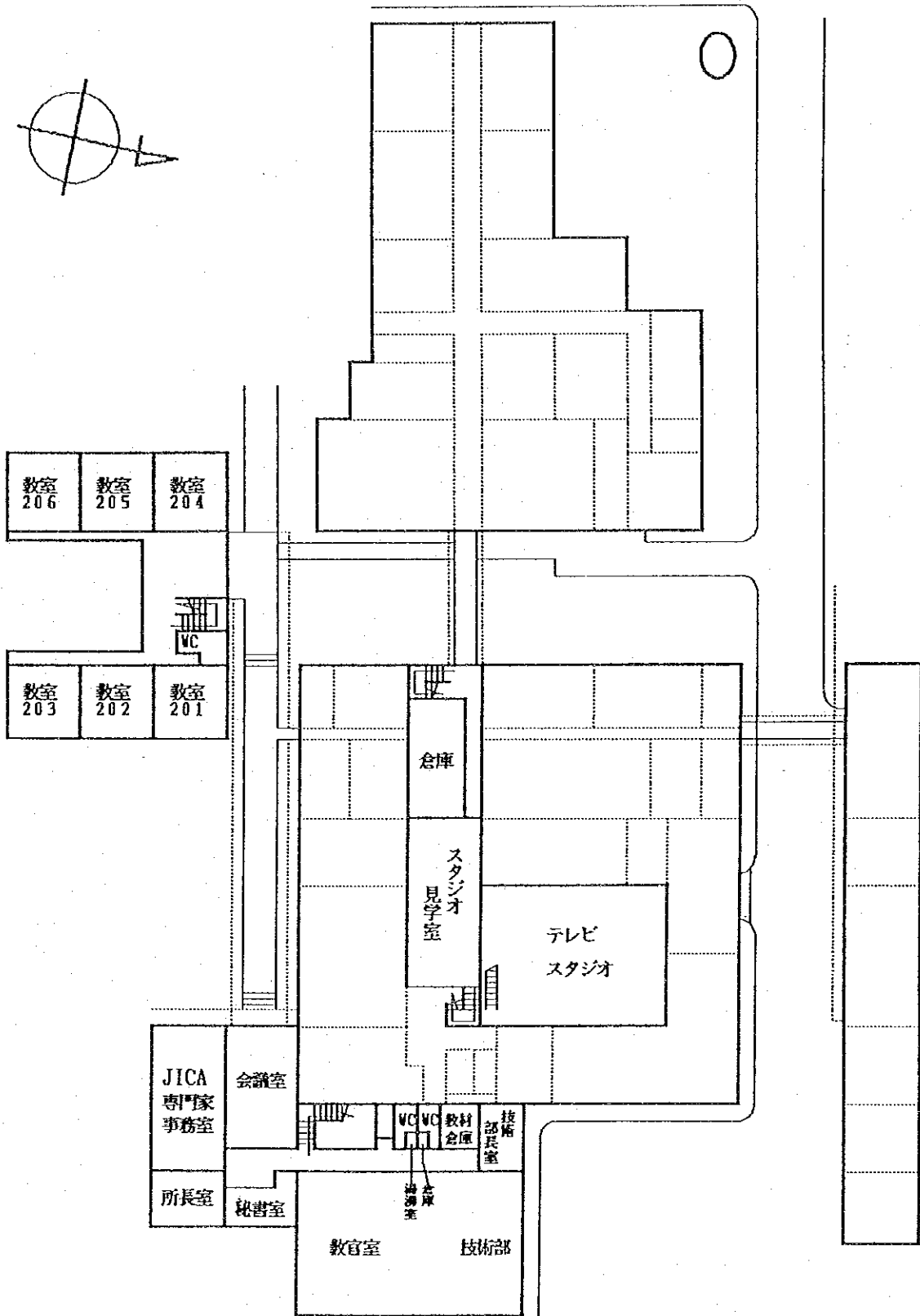
(3) MMTC施設配置図(1階見取図)



テレビスタジオ

ラジオスタジオ

(3) スタジオ概略図



(3) MMTC施設配置図(2階見取図)

< VI 資料 >

DIコース実施状況(その1)

1992. 4. 27
(単位:人)

| 回数 | 期間 | コース(分野)名 | 訓練生数 | 国試合格者数 | 応募者数 |
|-------------------------------|-----------------------------|-------------|------|--------|-------|
| 第 1 回 BII+BIII →DIの1学期分 | 1985. 7. 31 ~1986. 2. 18 | 番組制作 | 12 | | 358 |
| | | ニュース報道 | 12 | | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 29 | | |
| | | 送信技術 | 19 | | |
| | | 小 計 | 72 | | |
| 第 2 回 | 1986. 4. 12 ~1987. 3. 17 | 番組制作 | 20 | 18 | 241 |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 20 | 18+ *1 | |
| | | 小 計 | 40 | 36+ *1 | |
| 第 3 回 | 1987. 4. 27 ~1988. 3. 26 | 番組制作 | 20 | 19+ *1 | 213 |
| | | ニュース報道 | 20 | 19+ *1 | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 20 | 18+ *2 | |
| | | 小 計 | 60 | 56+ *4 | |
| 第 4 回 | 1988. 4. 16 ~1989. 3. 18 | 番組制作 | 18 | 17+ *1 | 329 |
| | | ニュース報道 | 18 | 16+ *2 | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 18 | 17+ *1 | |
| | | 送信技術 | 18 | 16+ *1 | |
| | | 小 計 | 72 | 66+ *5 | |
| 第 5 回 | 1989. 4. 4 ~1990. 3. 16 | 番組編成企画 | 24 | 24 | 392 |
| | | 番組制作 | 24 | 24 | |
| | | ニュース報道 | 24 | 24 | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 24 | 24 | |
| | | 送信技術 | 24 | 24 | |
| | | 小 計 | 120 | 120 | |
| 合 計 | | | 644 | 556 | 2,330 |

注) 1. *印は 1990. 3 の国家試験(追試)に合格した者を示す

DIコース実施状況(その2)

1992.5.07
(単位:人)

| 回数 | 期間 | コース(分野)名 | 訓練生数 | 国試合格者数 | 応募者数 |
|------------------------|-----------------------------|-------------|------|---------|-------|
| 第1回 補講分 →DIの2学期分 | 1989. 9. 4 ~1990. 3. 16 | 番組制作 | 7 | 7 | 48 |
| | | ニュース報道 | 6 | 6 | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 14 | 14 | |
| | | 送信技術 | 13 | 13 | |
| | | 小計 | 40 | 40 | |
| 第6回 | 1990. 4. 16 ~1991. 3. 15 | 番組編成企画 | 24 | 19+ *2 | 432 |
| | | 番組制作 | 24 | 22 | |
| | | ニュース報道 | 24 | 23 | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 24 | 22+ *1 | |
| | | 送信技術 | 24 | 22+ *1 | |
| | | 小計 | 120 | 108+ *4 | |
| 第7回 | 1991. 4. 22 ~1992. 2. 29 | 番組編成企画 | 24 | 21 | 317 |
| | | 番組制作 | 24 | 23 | |
| | | ニュース報道 | 24 | 24 | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 24 | 24 | |
| | | 送信技術 | 24 | 24 | |
| | | 小計 | 120 | 116 | |
| 第8回 | 1992. 4. 18 ~1993. 3. | 番組編成企画 | 24 | | 307 |
| | | 番組制作 | 24 | | |
| | | ニュース報道 | 24 | | |
| | | スタジオ/ 主調整技術 | 24 | | |
| | | 送信技術 | 24 | | |
| | | 小計 | 120 | | |
| 合計 | | | 764 | 556 | 2,637 |

注) 2. #印は 1992.3 の国家試験(追試)に合格した者を示す

DIIコース実施状況

1992. 5. 07
(単位：人)

| 回数 | 期間 | コース(分野)名 | 訓練生数 | 国試合格者数 | 応募者数 |
|-------|-----------------------------|--------------|------|--------|------|
| 第 1 回 | 1989. 4. 4 ~1990. 3. 16 | 部門別番組制作 | 12 | 12 | 86 |
| | | 番組/ニュース 原稿執筆 | 11 | 11 | |
| | | スタジオ制作技術 | 12 | 12 | |
| | | 小 計 | 35 | 35 | |
| 第 2 回 | 1990. 4. 16 ~1991. 3. 15 | 部門別番組制作 | 12 | 12 | 119 |
| | | 番組/ニュース 原稿執筆 | 12 | 12 | |
| | | スタジオ制作技術 | 12 | 12 | |
| | | 小 計 | 36 | 36 | |
| 第 3 回 | 1991. 4. 22 ~1992. 2. 29 | 部門別番組制作 | 12 | 12 | |
| | | 放送ジャーナリズム | 12 | 12 | |
| | | 番組/ニュース 原稿執筆 | 12 | 11 | |
| | | スタジオ制作技術 | 12 | 12 | |
| | | 小 計 | 48 | 47 | |
| 第 4 回 | 1992. 4. 18 ~1993. 3. | 部門別番組制作 | 12 | | 282 |
| | | 放送ジャーナリズム | 12 | | |
| | | 番組/ニュース 原稿執筆 | 12 | | |
| | | スタジオ制作技術 | 12 | | |
| | | 送信技術 | 12 | | |
| | | 小 計 | 60 | | |
| 合 計 | | | 179 | 118 | 487 |

DIIIコース実施状況

1992. 5. 07
(単位：人)

| 回数 | 期間 | コース(分野)名 | 訓練生数 | 国試合格者数 | 応募者数 |
|-------|--------------------------|-----------|------|--------|------|
| 第 1 回 | 1992. 4. 18 ～1993. 3. | 文化、娯楽番組制作 | 8 | | 69 |
| | | 番組構成法 | 8 | | |
| | | 叔加・送出運行技術 | 8 | | |
| | | 小 計 | 24 | | |
| 合 計 | | | 24 | | 69 |

MMTC・D I コーラス実施状況表 (1/1)

1991年4月現在

| 科目 | 区分 | 1985/86 | 1986/87 | 1987/88 | 1988/89 | 1989/90 | 合格 訓練 |
|---|-------------|--------------------------------|-------------------|--------------------|-------------------|---------------------------|----------|
| 1.番組編成企画 (Programs Compilation Planning) | 専門家 | 84/5/16 | 白石 克己 | 10/5 | 長谷川 晃 | 11/22 上野重喜 | 24 |
| | 計画 実施 | B I B II B III DI前期 (12/12) | D I | D I | D I DI (24/24) | D I DI (24/24) | 24 |
| 2.番組制作 (Program Lines Production) | 専門家 | 84/7/2 | 坂元 多 | 10/5 | 鈴木 勇 | 10/10 時松 佑児 | 87 |
| | 計画 実施 | B I B II B III DI前期 (12/12) | D I DI (18/20) | D I DI (20/20) | D I DI (18/18) | D I DI (24/24) DI (7) | 94 |
| 3.ニュース報道 (News & Current Affairs Reporting) | 専門家 | 84/7/2 | 磯部 洋一郎 | 7/1 | 7/12 長谷川 晃 (兼任) | 10/21 上野重喜 | 68 |
| | 計画 実施 | B I B II B III DI前期 (9/12) | D I | 福岡 薫 DI (20/20) | D I DI (18/18) | D I DI (24/24) DI (6) | 74 |
| 4.スタジオ及び 主調整の運用技術 (Studio & Master Control Techni- que Operation) | 専門家 | 84/7/2 | 園田 修一郎 | 6/18 7/1 9/30 | 加藤 勉 | 9/29 10/10 | 95 |
| | 計画 実施 | B I B II B III DI前期 (27/29) | D I DI (19/20) | D I DI (20/20) | D I DI (18/18) | D I DI (24/24) DI (14) | 111 |
| 5.送信技術 (Transmission Operation) | 専門家 | 84/5/16 | 佐藤 文雄 | 10/5 | 下地 昇 | | 54 |
| | 計画 実施 | B I B II B III DI前期 (16/19) | D I | D I | D I DI (18/18) | D I DI (24/24) DI (13) | 61 |
| 6.調整員 (Coordinator) | | 84/5/30 | 柴田 信二 | 5/12 5/29 | 浦上 浩三 | 池城 直 | 328 |
| | 応募/訓練生/合格者数 | 358/72/64 | 241/40/37 | 213/60/60 | 329/ 72/ 71 | 392/120/120 (+40:DI'85) | 364 |

(注) 1. 1985年度はMMTCローカルテストのみ実施された。 89年度の40名はこの85年度D I前期修了者64名中の40名である。
2. 科目別の「合格者数」は国家試験合格者数である。

A. D I コー ス M M T C ・ D I コー ス 実 施 状 況 及 計 画 表 (1 / 1) 1992年4月現在

| 科 目 | 区 分 | 1990/91 | 1991/92 | 1992/93 | 1993/94 | 1994/95 | 合 格 |
|--|-----------|---------------------------|---------------|----------------|---------|---------|-----------------|
| 1. 番組編成企画 (Programs Compilation Planning) | 専門家 計画 | 一上野 重喜 (DIIA) D I | D I | 24人 | 24人 | 24人 | 66 — 96 |
| | 実施 | D I (21/24) | D I (21/24) | D I (/24) | | | |
| 2. 番組制作 (Program Lines Production) | 専門家 計画 | 一時松 佑児 (DIIA) D I | D I | 24人 | 24人 | 24人 | 132 — 166 |
| | 実施 | D I (22/24) | D I (23/24) | D I (/24) | | | |
| 3. ニュース報道 (News and Current Affairs Reporting) | 専門家 計画 | 一上野 重喜 (兼任) (DIIA) D I | D I | 24人 | 24人 | 24人 | 115 — 146 |
| | 実施 | D I (23/24) | D I (24/24) | D I (/24) | | | |
| 4. スタジオ及び 主調整の運用技術 (Studio and Master Control Technique Operation) | 専門家 計画 | 一小林 修一 (DIIA) D I | D I | 24人 | 24人 | 24人 | 142 — 183 |
| | 実施 | D I (23/24) | D I (24/24) | D I (/24) | | | |
| 5. 送信技術 (Transmission Operation) | 専門家 計画 | 一下地 昇一 10/21 D I | D I | 24人 | 24人 | 24人 | 101 — 133 |
| | 実施 | D I (23/24) | D I (24/24) | D I (/24) | | | |
| 6. 調整員 (Coordinator) | | 一池城 直一 10/21 | 末満 広志 10/9 | | | | 556 |
| 応募数/訓練生数/合格者数 | | 432/120/112 | /120/116 | /120/ 10/21 | (120) | (120) | 724 |

(注) D I に対する技術協力は '90/10/21 をもって終了した。

B. DIIコース

MMTC・DIIコース実施状況と計画表(1/1)

1992年4月現在

| 科目 | 区分 | 1989/90 | 1990/91 | 1991/92 | 1992/93 | 1993/94 | 1994/95 | 合格 訓練 |
|---|-----------------|--------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|---------|---------|----------|
| 1. 放送番組企画 (Program Broadcasting Planning) | 専門家 計画 実施 | 長谷川晃 11/22 | 上野 | 重喜(兼任) | 10/21 | 12人 | 12人 | |
| 2. 部門別番組制作 (Program Package Production) | 専門家 計画 実施 | 時松 D II DII(12/12) | 佑児 4/8 D II DII(12/12) | 小崎 俊彦 4/21 D II DII(12/12) | 10/21 D II DII(7/12) | 12人 | 12人 | 36 48 |
| 3. 番組/ニュース 原稿執筆 (Script/Story Writing) | 専門家 計画 実施 | 長谷川晃 11/22 | 上野 D II DII(12/12) | 重喜(兼任) D II DII(12/12) | 10/21 D II DII(7/12) | 12人 | 12人 | 34 47 |
| 4. 放送 パフォーマンス (Broadcasting Performance) | 専門家 計画 実施 | 時松 | 佑児 4/8 | 小崎 俊彦 4/21 | 10/21 | | | |
| 5. 放送 ジャーナリズム (Broadcasting Journalism) | 専門家 計画 実施 | 長谷川晃 11/22 | 上野 | 重喜(兼任) D II DII(12/12) | 10/21 D II DII(7/12) | 12人 | 12人 | 12 24 |
| 6. スタジオ制作技術 (Studio Production Technique) | 専門家 計画 実施 | 小林 D II DII(12/12) | 修 4/8 D II DII(12/12) | 船木 健 4/21 D II DII(12/12) | 10/21 D II DII(7/12) | 12人 | 12人 | 36 48 |
| 7. 修理技術 (Technical Repair for Studio&Master Control Equipment) | 専門家 計画 実施 | | 小林 修 4/8 | 船木 健 4/21 | 10/21 | | | |
| 7. 送信技術 (Transmission Technique) | 専門家 計画 実施 | 下地 昇 | 10/9 | 向尾 治 | 10/21 D II DII(7/12) | 12人 | 12人 | 12 96 |
| 応募数/訓練生数/合格者数 | | 86/35/35 | 119/36/36 | /48/47 | 760/ | (72) | (72) | 157 |

| 科 目 | 担当専門家 | 1991/92 | 1992/93 | 1993/94 | 1994/95 |
|--|----------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 放送管理 (Broadcasting Management) | 上野 重喜 '89.1.22.~ '92.10.21 | | | | |
| 2. ニュース、報道番組制作 (Program News & Information Productions) | 上野 重喜 (兼任) | | | | 8人 |
| 3. 教育、宗教番組制作 (Program Education & Religion Productions) | 小崎 俊彦 '91.4.8.~ '92.10.21 | | | 8人 | |
| 4. 文化、娯楽番組制作 (Program Cultural & Entertainment Productions) | 小崎 俊彦 (兼任) | | /8 | | 8人 |
| 5. 番組構成法 (Artistic Programme Construction) | 小崎 俊彦 (兼任) | | | | |
| 6. 台本執筆作成 (Scenario & Storyboard Writings) | 上野 重喜 (兼任) | | /8 | 8人 | 8人 |
| 7. スピーチ・ドラマ演技 (Public Speech & Drama Castings) | 小崎 俊彦 (兼任) | | | | |
| 8. ポストプロダクション・送出運行技術 (Post Production and Master Control Engineering) | 向尾 治 '90.10.9.~ '92.10.21 | | | | |
| 9. スタジオ制作技術 (Production Studio Engineering) | 鈴木 健一 '91.4.8.~ '92.10.21 | | /8 | 8人 | 8人 |
| 10. 送信技術と保守 (Transmission Engineering and Maintenance) | 向尾 治 (兼任) | | | | |
| 11. スタジオ保守・主調整技術 (Studio and Master Control Equi- pment Maintenance Engineering) | 鈴木 健一 (兼任) | | | | |
| 訓練生数合計 | | | /24/ | (24) | (32) |

ディプロマコース以外の訓練実施状況表 1991.12.17

| Year | Program | Duration (days) | Number of Participants | Conducted by |
|----------------|--|--|--|---|
| 1985 / 1986 | ① TV Programme & Production Course | 35 | 22 | TVTC |
| 1986 / 1987 | ① TV Transmission ② Radio Transmission | 90 39 | 24 25 | MMTC/ TVTC RTC |
| 1987 / 1988 | ① TV Stage Design Course ② Producer of Radio Broadcasting Course I ③ TV Studio Engineering ④ Specialisation in production of TV Drama ⑤ Radio Transmitter Maintenance ⑥ Microwave Engineering ⑦ Producer of Radio Broadcasting Course II ⑧ Introduction to Radio and Television Technology ⑨ Broadcast Management Radio- Television | 19 40 210 30 40 21 40 20 7 | 16 20 12 20 20 12 20 10 19 | ADAB/ MMTC RTC TVTC RTC RTC TVTC/ AIBD/ TVRI RTC AKMIL Magelang/ MMTC AIBD/ ADAB/ MMTC |
| 1988 / 1989 | ① Introduction of TV Transmission Technique ② Rural Broadcasting (DBU/ Development Broadcast Union) ③ Increasing Profession Ability ④ Maintenance of Radio Transmission Technique ⑤ Basic Radio Announcing ⑥ Film Movie Processing ⑦ Measuring of TV Transmission Technique ⑧ Program Instruction of Agriculture on Radio and TV ⑨ Teaching Methodology ⑩ Traditional Media ⑪ TV Documentary & Feature ⑫ Applied Statistics for Broadcast Management ⑬ Aspects of High Technology | 90 40 90 40 40 3 31 45 12 12 6 22 24 | 18 18 15 20 15 12 24 15 15 19 15 15 | TVTC CIDA/ AIBD/ TVRI MMTC RTC RTC PT. Inter Delta/ Kodak Australia AIBD/ TVTC Univ. of Gajah Mada MMTC - IKIP MMTC - ISI Goethe Institute / WDR/ MMTC MMTC - Univ. of Gajah Mada MMTC - Univ. of Gajah Mada |
| 1989/ 1990 | ① Lighting Technic for Colour Television ② Studium General on Agriculture Broadcasting ③ Radio Program Production ④ Radio Program Workshop on Traditional Medicine | 11 5 8 4 | 33 30 14 10 | MMTC-AIBD, AAMP Goethe Institute / MMTC MMTC-DBU Goethe Institute / MMTC |
| 1990/ 1991 | N I L | 0 | 0 | |
| 1991/ 1992 | ① Project Organization and Self Management for Television Drama Producers ② Training of Trainees | 20 36 | 14 24 | Sender Frieis Berlin, Germany TVTC/MMTC |
| TOTAL | | 1,130 | 546 | |

長期専門家派遣実績表

1991年11月現在

| 分野名 | 専門家氏名 | 派遣期間 | 滞在期間 |
|-----------|-----------|---|----------|
| 1. 番組編成 | 1. 白石 克己 | 1984年5月16日～1987年10月15日 (チームリーダー兼務) | 3年5.0ヶ月 |
| | 2. 長谷川 晃 | 1987年10月5日～1989年10月21日 (チームリーダー兼務&88/7/12より報道兼務) | 2年0.5ヶ月 |
| | 3. 上野 重喜 | 1989年11月22日～1992年10月21日 (報道兼務 &90/10/20よりチームリーダー兼務) | 2年11.0ヶ月 |
| 2. 番組制作 | 1. 坂元 多 | 1984年7月2日～1987年10月15日 | 3年3.5ヶ月 |
| | 2. 鈴木 勇 | 1987年10月5日～1988年10月21日 | 1年0.5ヶ月 |
| | 3. 時松 佑兒 | 1988年10月10日～1991年4月21日 | 2年6.4ヶ月 |
| | 4. 小崎 俊彦 | 1991年4月8日～1992年10月21日 | 1年6.4ヶ月 |
| 3. ニュース報道 | 1. 磯部 洋一郎 | 1984年7月2日～1986年7月1日 | 2年 |
| | 2. 福岡 薫 | 1986年7月12日～1988年7月11日 | 2年 |
| 4. 運行技術 | 1. 園田 修一郎 | 1984年7月2日～1986年7月1日 | 2年 |
| | 2. 加藤 勉 | 1986年9月30日～1988年9月29日 | 2年 |
| 5. 制作技術 | 1. 伊藤 晃二 | 1984年7月2日～1985年9月12日 | 1年2.3ヶ月 |
| | 2. 館 和夫 | 1986年6月18日～1987年6月17日 | 1年 |
| | 3. 岡野 正二 | 1987年10月5日～1988年10月21日 | 1年0.5ヶ月 |
| | 4. 小林 修 | 1988年10月10日～1991年4月21日 (運行技術兼務) | 2年6.4ヶ月 |
| | 5. 鷗木 健一 | 1991年4月8日～1992年10月21日 | 1年6.4ヶ月 |
| 6. 送信技術 | 1. 佐藤 文雄 | 1984年6月15日～1987年10月15日 | 3年4.0ヶ月 |
| | 2. 下地 昇 | 1987年10月5日～1990年10月21日 (89年10月21日よりチームリーダー兼務) | 3年0.5ヶ月 |
| | 3. 向尾 治 | 1990年10月9日～1992年10月21日 | 2年0.4ヶ月 |
| 7. 調整員 | 1. 柴田 信二 | 1984年5月30日～1986年5月29日 | 2年 |
| | 2. 浦上 浩三 | 1986年5月12日～1987年10月15日 | 1年5.1ヶ月 |
| | 3. 池城 直 | 1987年10月5日～1990年10月21日 | 3年0.5ヶ月 |
| | 4. 末満 広志 | 1990年10月9日～1992年10月21日 | 2年0.4ヶ月 |
| 合計 | 23人 | | |

短期専門家派遣実績表

1992年2月現在

| 年度 | テーマ | 分野 | 専門家氏名 | 派遣期間 |
|---------|---|---|---|--|
| 1984/85 | 運営管理 美術 | 一般 番組制作 | 渡辺 晋太郎 斉藤 博己 | 1984. 11. 18~1985. 1. 18 1984. 12. 8~1985. 1. 17 |
| 1985/86 | 運営管理 現像 | 一般 運行技術 | 渡辺 晋太郎 畠山 哲夫 | 1985. 6. 10~1985. 9. 9 1986. 1. 27~1986. 3. 26 |
| 1986/87 | 放送資料 ニュース編集 照明技術 電力設備保守 | 番組編成 ニュース報道 制作技術 技術一般 | 稲田 正康 高梨 二三夫 竹内 正明 遠藤 芳郎 | 1986. 3. 13~1986. 5. 12 1986. 9. 30~1986. 11. 29 1986. 9. 30~1986. 11. 29 1986. 11. 4~1986. 12. 3 |
| 1987/88 | 送信機据付 送信機据付 アンテナ工学 音響効果 音声調整技術 世論調査 | 送信技術 送信技術 送信技術 制作技術 制作技術 番組編成 | 沢田 武 林 彰 石井 晃 松崎 茂 篠田 光昭 横山 滋 | 1987. 6. 8~1987. 6. 24 1987. 6. 8~1987. 6. 29 1987. 9. 9~1987. 9. 22 1987. 11. 16~1987. 12. 27 1987. 11. 16~1987. 12. 27 1988. 1. 17~1988. 2. 17 |
| 1988/89 | 信頼性と保守 受信技術 映像特殊効果 | 技術一般 技術一般 制作技術 | 鳥野 紀夫 和食 暁 河内 博司 | 1988. 11. 5~1988. 12. 9 1988. 11. 5~1988. 12. 9 1988. 11. 5~1988. 12. 9 |
| 1989/90 | 学校放送 スポット番組 放送資料の保管 教育放送 芸能番組 中継技術 保守技術 放送のニューメディア 建築音響 | 番組制作 番組編成・制作 番組編成 番組制作 番組制作 制作技術 制作技術 技術一般 技術一般 | 松田 義明 佐々木復治 霜鳥 秀雄 河野 謙輔 伊藤 喜一郎 杉山 真澄 河内 博司 末岡 多加志 若槻 敏夫 | *1989. 5. 15~1989. 6. 18 *1989. 5. 15~1989. 6. 18 *1989. 5. 15~1989. 6. 18 1989. 9. 18~1989. 10. 22 1989. 9. 18~1989. 10. 22 1989. 11. 13~1989. 12. 9 1989. 11. 13~1989. 12. 9 1990. 3. 12~1990. 4. 7 1990. 3. 12~1990. 4. 7 |
| 1990/91 | VTR技術 放送におけるデジタル技術 スタジオ構成番組 ニュース取材・編集 | 制作技術 技術一般 番組制作 ニュース報道 | 籠宮 雄治 浅川 玲 佐々木真理 榎木丸悟 | 1990. 8. 20~1990. 9. 22 1990. 8. 20~1990. 9. 22 1991. 3. 18~1991. 4. 20 #1991. 3. 18~1991. 4. 20 |
| 1991/92 | 測定技術 マイクロ波技術 番組編成 ラジオ番組制作 音楽演芸番組制作 美術デザインスタジオセット | 技術一般 技術一般 番組編成 番組制作 番組制作 番組制作 | 岩鼻 幸男 塩田 拓哉 西野 泰司 石井 行廣 池谷 浩 星野 昭 | 1991. 9. 2~1991. 10. 6 1991. 9. 2~1991. 10. 6 1991. 10. 28~1991. 12. 3 1991. 10. 28~1991. 11. 30 1992. 3. 9~1992. 4. 15 1992. 3. 9~1992. 4. 15 |
| 合計 | | | 36名 | |

- (注) 1. *印の3件は1988年度に実施予定であったが、諸般の事情により1989年度に繰越して実施された。
2. #印の件は実施途中、短専榎木丸氏の実家に不慮の事態が起こり3月28日付同氏急遽帰国、チームリーダー上野氏により継続実施された。

日本でのカウンターパート研修状況(1/3)

1991年8月現在

| 年度 | No | カウンターパート氏名 (担当分野) | 研修科目 | 研修場所及び期間 | 研修結果 | 現在の状況 |
|------|----|------------------------------------|------------------|------------------------------------|------|--------------------------|
| 1983 | 1 | Kosasih (制作技術、送信技術) | テレビ放送技術 | NHK 84. 1. 19~84. 4. 15 | 良好 | MMTC技術部長 |
| | 2 | Tugiyo (制作技術、送信技術) | テレビ放送技術 | NHK 84. 1. 19~84. 4. 15 | 良好 | MMTC教官 |
| | 3 | Halim Nasir (番組制作、ニュース報道) | 教育テレビ番組 | NHK 84. 1. 19~84. 4. 15 | 良好 | TVRI JAKARTA 編成部長 |
| | 4 | Ananto Pratikno | 教育テレビ番組 | NHK 84. 1. 19~84. 4. 15 | 良好 | RRI UJUNG PANDANG |
| 1984 | 5 | Iping Madunpi (制作技術) | ラジオ放送技術 | NHK 84. 6. 11~84. 9. 23 | 良好 | RRI JAKARTA 制作技術課長 |
| | 6 | Sugiyarto KD | 放送管理 | NHK 84. 7. 19~84. 10. 30 | 良好 | TVRI YOGYAKARTA 送信課長 |
| | 7 | Sjahan Nasution | 放送管理 | NHK 84. 8. 2~84. 10. 30 | 良好 | TVRI MEDAN |
| | 8 | BMO Prayoga (ニュース報道) | 教育番組 | NHK 84. 8. 2~84. 10. 30 | 良好 | MMTC教官 |
| | 9 | Istyo Hartono (制作技術) | カラーTV技術 | NHK 84. 12. 15~85. 2. 29 | 良好 | MMTC教官 |
| | 10 | Harmen Hary (番組制作) | TVグラフィック デザイン | NHK 85. 2. 7~85. 3. 30 | 良好 | MMTC教官 |
| | 11 | Togar Lumban Radja | 管理運営 | NHK 85. 2. 7~85. 3. 30 | 良好 | MMTC総務部長 |
| 1985 | 12 | Syahrir Kandung (制作技術、送信技術) | テレビ放送技術 | NHK 85. 7. 18~85. 11. 3 | 良好 | MMTC教官 |
| | 13 | Iriandi (制作技術) | 音響技術 | NHK 85. 7. 18~85. 11. 3 | 良好 | MMTC教官 |
| | 14 | Indrati Munandari | 番組編集 | NHK 85. 8. 1~85. 11. 3 | 良好 | TVRI YOGYAKARTA |
| | 15 | Bambang Winarso (番組制作、ニュース報道) | 番組制作 | NHK 85. 8. 1~85. 11. 3 | 良好 | MMTC教務部総務課長 |
| 1986 | 16 | Romain Rusdi (番組制作) | 教育テレビ番組I | NHK 86. 8. 5~86. 10. 6 | 良好 | (MMTC教官) 1988年3月6日 死亡 |
| | 17 | Elvi Listiorini | 放送 ライブラリー | NHK 図書館情報大学 87. 1. 16~87. 3. 31 | 良好 | MMTC秘書室長 |
| | 18 | Mooriantoro (制作技術) | テレビ放送技術 | NHK 87. 1. 18~87. 4. 5 | 良好 | MMTC複写資料課長 |
| | 19 | Bambang Witomo (運行技術) | 教育テレビ番組II | NHK 87. 1. 18~87. 4. 5 | 良好 | MMTC教官 |
| | 20 | Mourice Simatupan (番組制作、ニュース報道) | ニュース及び 放送研修管理 | NHK 87. 3. 20~87. 5. 21 | 良好 | MMTC庶務課長 及び ニュース報道C/P |

(注) No. 5, 9はC/P枠でなく、集団枠としての参加である。

日本でのカウンターパート研修状況 (2/3)

1991年4月現在

| 年度 | No | カウンターパート氏名 (担当分野) | 研修科目 | 研修場所及び期間 | 研修結果 | 現在の状況 |
|------|----|----------------------------------|-----------------|------------------------------|------|------------------------------|
| 1987 | 21 | Martinus S | 教育テレビ番組 | NHK 87. 7. 20~87. 9. 21 | 良好 | TVRI YOGYAKARTA |
| | 22 | Muhammd Sarpiih (送信技術) | ラジオ送信技術 | NHK 87. 7. 20~87. 10. 14 | 良好 | MMTC教官 |
| | 23 | Soeharno (制作技術) | テレビ放送技術 | NHK 87. 7. 20~87. 11. 14 | 良好 | MMTC教官 |
| | 24 | Joko Yuniarto (送信技術) | テレビ放送技術 | NHK 87. 7. 20~87. 11. 14 | 良好 | MMTC教官 |
| | 25 | Rachmad Sutedjo (番組制作、ニュース報道) | 世論調査 | NHK 87. 11. 17~87. 12. 31 | 良好 | MMTC教官 |
| | 26 | Djudjur Sutiawan (運行技術) | 行政情報システム | NHK 88. 1. 18~88. 3. 18 | 良好 | 元MMTC教官 SCTVに転職(91. Jan.) |
| | 27 | Kartini (番組制作) | 教育テレビ番組 (上級) | NHK 88. 1. 18~88. 3. 18 | 良好 | MMTC教官 |
| 1988 | 28 | A. Tanadjoe (番組制作) | テレビ放送管理 | NHK 88. 5. 4~88. 6. 17 | 良好 | MMTC教官 |
| | 29 | Subakat (制作技術) | テレビ放送技術 (I) | NHK 88. 7. 17~88. 10. 25 | 良好 | MMTC教官 |
| | 30 | Lembah Susanto (制作技術) | テレビ放送技術 (I) | NHK 88. 7. 17~88. 10. 25 | 良好 | MMTC教官 |
| | 31 | Sunaryo (制作技術) | テレビ放送技術 (II) | NHK 89. 1. 16~89. 4. 4 | 良好 | MMTC教官 |
| | 32 | Djudjur Sutiawan (運行技術) | テレビ放送技術 (II) | NHK 89. 1. 16~89. 4. 4 | 良好 | 元MMTC教官 SCTVに転職(91. Jan.) |
| | 33 | Mulatono | 放送局総務関連業務 | NHK 89. 1. 30~89. 3. 14 | 良好 | MMTC総務部職員 |
| 1989 | 34 | Joseph Ermanuel, M | テレビ放送管理 | NHK 89. 5. 12~89. 7. 23 | 良好 | MMTC報道報告評価課長 |
| | 35 | Muhammad Rusdi | テレビ放送管理 | NHK 89. 5. 12~89. 7. 23 | 良好 | MMTC総務部職員 |
| | 36 | Rini Wrudiyanti | テレビ報道番組 | NHK 89. 10. 17~89. 11. 19 | 良好 | MMTC文章課長 |
| | 37 | Dwi Suryanto (制作技術) | テレビ放送技術 (II) | NHK 90. 1. 15~90. 3. 4 | 良好 | MMTC教官助手 |
| | 38 | Karno (制作技術) | 計測・保守技術 | NHK 90. 3. 20~90. 5. 16 | 良好 | MMTC教官助手 |

(注) No. 26, 27, 28, 34, 35, 37 はC/P枠でなく、集団枠としての参加である。

日本でのカウンターパート研修状況(3/3)

1992年6月現在

| 年度 | No | カウンターパート氏名 (担当分野) | 研修科目 | 研修場所及び期間 | 研修結果 | 現在の状況 |
|------|----|-------------------------------------|------------------|------------------------------------|------|--------------------------|
| 1990 | 39 | Endang Sulistyasari, MS (ニュース報道) | テレビ放送管理 | NHK 90. 5. 17~90. 7. 24 | 良好 | MMTC教官 |
| | 40 | Fatchuri (写真資料) | サウンド・スライド 制作 | JICA沖繩研修センター 90. 7. 2~90. 10. 2 | 良好 | MMTC教官助手 |
| | 41 | Nurhaeni (番組制作) | 教育テレビ番組 (I) | NHK 90. 7. 16~90. 10. 2 | 良好 | MMTC教官助手 |
| | 42 | Harmen Hary (番組制作) | 教育芸能番組制作 | NHK 90. 7. 16~90. 10. 2 | 良好 | MMTC教官 |
| | 43 | Bagyo Kristanto (保守) | テレビ放送技術 (I) | NHK 90. 7. 16~90. 10. 16 | 良好 | MMTC教官助手 |
| | 44 | Tommy Suprpto (報道) | テレビ放送管理 | NHK 90. 10. 8~90. 11. 12 | 良好 | MMTC教官 |
| | 45 | Sudarman | テレビ放送管理 | NHK 90. 10. 8~90. 11. 12 | 良好 | MMTC総務部職員 |
| | 46 | Bambang A. Siswanto (制作技術) | テレビ放送技術 (II) | NHK 91. 1. 14~91. 3. 3 | 良好 | MMTC教務部長 |
| 1991 | 47 | Maurice Simatupan (番組制作、ニュース報道) | テレビ放送管理 | NHK 91. 5. 13~91. 7. 9 | 良好 | MMTC庶務課長 及び ニュース報道C/P |
| | 48 | Siswadi (番組編成) | 放送管理・編成 (準高級) | NHK 91. 8. 27~91. 9. 25 | 良好 | MMTC教官主任 |
| | 49 | Darwanto Sastro S. (番組編成) | 放送・教育番組制作 | NHK 91. 8. 27~91. 9. 25 | 良好 | MMTC教官 |
| | 50 | Soeharno (制作技術) | テレビ放送技術 (II) | NHK 92. 1. 13~92. 3. 21 | 良好 | MMTC教官 |
| | 51 | Syahrir Kandung (制作技術) | テレビ放送技術 (II) | NHK 92. 1. 13~92. 3. 21 | 良好 | MMTC教官 |
| | 52 | Istyo Hartono (制作技術) | 教育テレビ番組 (II) | NHK 92. 1. 13~92. 3. 21 | 良好 | MMTC教官 |
| 1992 | 53 | Stepanas Tugiman (番組制作) | テレビ放送管理II | 郵政&NHK 92. 5. 11~92. 7. 8 | 研修中 | MMTC人事課長 |
| | 54 | Sri Mulyani (制作技術) | テレビ放送技術 | NHK 92. 7. 14~92. 10. | | MMTC教官助手 |
| | 55 | Sugeng Rijanto (番組制作) | テレビ教育番組 | NHK 92. 7. 14~92. 10. | | MMTC教官 |
| | 56 | Agustinus Ismento (制作技術) | テレビ放送技術 | NHK 92. 7. 14~92. 9. 27 | | MMTC教官助手 |
| | 57 | Hoetojo Hoerip (放送管理) | 放送全般視察 (準高級) | NHK 92. 8. ~ | | MMTC所長 |
| | 58 | BMO Prayoga (番組制作) | 報道番組 | NHK 92. 8. ~ | | MMTC教官 |

(注) No. 46, 56 はC/P枠でなく、集団枠としての参加である。

MMTC職員数推移表

1992年5月現在

| No | 部 署 | 1986年度 | | | 1987年度 | | | 1988年度 | | | 1989年度 | 1990年度 | 1991年度 | 1992年度 |
|--------------|------|--------|----|----|--------|---------------------------------|----|--------|----|----|--------|--------|--------|--------|
| | | 正職員 | 見習 | 合計 | 正職員 | 見習 | 合計 | 正職員 | 見習 | 合計 | 正職員 | 正職員 | 正職員 | 正職員 |
| 1 | 所 長 | 1 | -- | 1 | 1 | -- | 1 | 1 | -- | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 2 | 総務部 | 20 | 17 | 37 | 27 | 17 | 44 | 25 | 17 | 42 | 43 | 56 | 56 | |
| 3 | 教務部 | 8 | 3 | 11 | 8 | 3 | 11 | 10 | 4 | 14 | 19 | 26 | 30 | |
| 4 | 技術部 | 14 | 1 | 15 | 16 | 1 | 17 | 20 | 1 | 21 | 26 | 39 | 44 | |
| 5 | 専任教官 | 10 | -- | 10 | 12 | -- | 12 | 12 | -- | 12 | 12 | 16 | 18 | |
| 合 計 | | 53 | 21 | | 64 | 21 | | 68 | 22 | | 101 | 133 | 149 | |
| | | 74 | | 85 | | 90 | | | | | | | | |
| JICA 専門家数 | | 7人 | | 7人 | | 10/21まで7人、10/22以降5人(2年延長に伴い2人減) | | 5人 | | 5人 | | 5人 | | |

* 合計欄の()内数字は兼任教官数を示す。

1992年度MMTC職員数及び教官数

1992年5月現在

職員数 : 149人
所長 1人
総務部 56人
教務部 30人
技術部 44人
専任教官 18人

教官数 : 29人
専任教官 18人
兼任教官 11人

専任教官

1. SISWADI, BA.
2. DRS. BMO. PROYOGA
3. SOEHARNO
4. HARMEN HARRY
5. IR. DRS. SYAHRIR KANDUNG
6. DRS. SUGENG RIYANTO
7. JOKO YUNianto
8. LEMBAH SUSANTO
9. BAMBANG WITOMO
10. DRS. ISTIYO HARTONO
11. DRS. DARWANTO S.
12. DRA. KARTINI
13. DRS. UTJUK RAHARDJO
14. DRA. ENDANG SULISTYASARI MS.
15. DRS. TOMMY SUPRAPTO, MS.
16. MOCHAMAD SARPIIH
17. DRS. SUDOMO
18. R. SUTADI

兼任教官

1. HOETOJO HOERIP
2. DRS. SISWANTONO
3. DRS. KOSASIH
4. MOORYANTRO
5. RACHMAD SUTEDJO, SH.
6. DRS. TUGIYO
7. DRS. BAMBANG WINARSO
8. SUNARYO, BA.
9. SUBAKAT
10. MAURICE SIMATUPANG, SH.
11. DRS. A. Z. TAMADJO

1. 上記以外に、外部から31人の教官が招聘されている。

MMTC『イ』創予算推移表 (単位:千円)

| 年度 | 1985/86 | | | 1986/87 | | | 1987/88 | | | 1988/89 | | | 1989/90 | | |
|-----------|----------|-----|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| | 開発 | 通常 | 小計 | 開発 | 通常 | 小計 | 開発 | 通常 | 小計 | 開発 | 通常 | 小計 | 開発 | 通常 | 小計 |
| 予算要求額 (A) | --- | --- | --- | 1,900,000 | 2,280,080 | 4,180,080 | 3,564,704 | 2,811,490 | 6,376,194 | 1,602,660 | 2,901,100 | 4,503,760 | 683,522 | 1,321,903 | 2,005,425 |
| 予算額 (B) | *239,495 | --- | 239,495 | 180,860 | 454,600 | 635,460 | 191,588 | 421,100 | 612,688 | 240,000 | 628,600 | 868,600 | 436,500 | 756,700 | 1,193,200 |
| | | | | * 34,679 | | + 34,678 | * 75,372 | | + 75,372 | | | | (+141,450) | (-141,450) | |
| | | | | 215,539 | | 670,139 | 266,960 | | 688,060 | | | | =577,950) | =615,250) | (1,193,200 |
| 不足額 (C) | -239,495 | --- | -239,495 | 1,684,461 | 1,825,480 | 3,509,941 | 3,287,744 | 2,390,390 | 5,688,134 | 1,362,660 | 2,272,500 | 3,635,160 | 247,022 | 565,203 | 812,225 |
| (A-B) | | | | | | | | | | | | | (-141,450) | (+141,450) | |
| | | | | | | | | | | | | | =105,572) | =706,663) | (812,225) |

| 年度 | 1990/91 | | | 1991/92 | | | 1992/93 | | | 合計 | 備考 |
|-----------|------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|---|
| | 開発 | 通常 | 小計 | 開発 | 通常 | 小計 | 開発 | 通常 | 小計 | | |
| 予算要求額 (A) | 602,738 | 1,218,655 | 1,821,393 | 642,517 | 999,600 | 1,642,117 | 3,657,725 | 1,974,116 | 5,631,841 | 26,160,810 | ・85/86～87/88年度の*印は、当初RRR訓練所、TVRI訓練所等へ割り当てられた予算を最終的にMMTCの開発予算として振り替えた額。 ・89/90～91/92年度における予算額 (B) 及び不足額 (C) の () 内数字は、各々DIIコース実施のため通常予算より開発予算へ振り替えた額。 ・92/93年度における予算額 (B) 及び不足額 (C) の () 内数字は、DII & DIIIコース実施のため通常予算より開発予算へ振り替えた額。 |
| 予算額 (B) | 437,686 | 793,650 | 1,231,336 | 642,517 | 899,600 | 1,642,117 | 683,551 | 1,394,200 | 2,057,751 | 6,532,947 | |
| | (+208,200) | (-208,200) | | (+260,132) | (-260,132) | | (+484,131) | (-484,131) | | | |
| | =645,886) | =585,450) | (1,231,336) | =902,649) | =739,468) | (1,642,117) | =1,147,682) | =910,069) | (2,057,751) | (6,532,947) | |
| 不足額 (C) | 165,052 | 425,005 | 590,057 | 0 | 0 | 0 | 2,984,174 | 579,916 | 3,574,090 | 13,996,022 | |
| (A-B) | (-208,200) | (+208,200) | | (-260,132) | (+260,132) | | (-484,131) | (+484,131) | | | |
| | =-43,146) | =633,205) | (590,057) | =-260,132) | =260,132) | (0) | =2,510,043) | =-1,064,047) | (3,574,090) | | |

1992年5月現在

日本側負担ローカルコスト推移表 (単位:千円)

| 費目 年度 | 一般現地 業務費 | 現地業務費 臨時支給分 | 貧困国 対策費 | 技術普及 広報費 | 現地語教科 書作成費 | 応急対策費 | 視察等 教材整備費 | 技術交換費 | 現地地 開催費 | 供与機材 | 合 計 |
|----------|-------------|-------------------------|------------|-------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------|------------|------------|------------------------|
| 1984 | 1,350 | 301 | 800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,300 | 23,751 |
| 1985 | 1,550 | 1,222 | 1,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 150,727 | 154,699 |
| 1986 | 1,620 | 1,153 | 1,200 | 672 (ビデオ作成) | 0 | *7,500千RP (揚水ポンプ) | 0 | 0 | 0 | 93,804 | 98,449 +7,500,000Rp |
| 1987 | 1,790 | 968 | 1,200 | 3,000 (広報用 ビデオ作成) | 1,000 (DII、DIII用 教材作成) | 0 | 0 | 0 | 0 | 24,490 | 32,448 |
| 1988 | 1,668 | 2,517 (域内旅費 機材購入) | 1,200 | 0 | 0 | 1,226 (給水工事、 機材購入) | 2,000 (ビデオ教材 制作) | 0 | 0 | 20,232.8 | 28,843.8 |
| 1989 | 1,404 | 1,200 (域内旅費) | 1,200 | 3,000 (広報用 機材整備) | 2,000 (DII、DIII用 教材作成) | 0 | 2,000 (ビデオ教材 制作) | 0 | 0 | 63,127.6 | 73,931.6 |
| 1990 | 2,352 | 1,350 (域内旅費) | 1,200 | 1,200 (ビデオ作成) | 1,100 (DII、DIII用 教材作成) | 2,782 (スタブ 屋根漏 水補修工事) | 2,200 (ビデオ外 購入) | 0 | 0 | 99,138.6 | 111,322.6 |
| 1991 | 1,380 | 1,550 (域内旅費) | 1,200 | 1,400 (展示参 加用) | 1,500 (DII、DIII用 教材作成) | 0 | 3,800 (ビデオ外 購入) | 1,800 (AIBD出張) | 0 | 20,250 | 32,880 |
| 1992 | 2,875 | 0 | 1,410 | 0 | () | 0 | 0 | 0 | 1,876 | (24,001.7) | |
| 合計 | 15,989 | 10,261 | 10,610 | 9,272 | 5,600 | 4,008 +7,500千RP | 10,000 | 1,800 | 1,876 | 493,070.0 | 566,325.0 +7,500千RP |

注 *印は事務所プール分より支出分

ラジオ・テレビ放送訓練センター プロジェクト実績線表

← 2 年 延 長 → 1991年4月

| 細目 | 年.月 | 1983年(S58年) | 1984年(S.59年) | 1985年(S.60年) | 1986年(S.61年) | 1987年(S.62年) | 1988年(S.63年) | 1989年(S.64 & H.1年) | 1990年(H.2年) | 延合計 | | |
|------------------|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|--|---|---|---|---|-------------------|-------------|-----|
| | | 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1 2 3 | | | |
| 専 門 家 | 番組編成 | | 5/16 | (リーダー兼務) 白石克己 | 10/5 10/15 | 長谷川 晃 | 10/21 | 上野 重喜 | (報道及び90、10/22からはリーダーを兼務) | 19人 | | |
| | 報道 | | 7/2 | 磯部 洋一郎 | 7/12 7/1 | 福岡 薫 | 7/11 | | | | | |
| | 番組制作 | | 7/2 | 坂元 多 | 10/5 10/15 | 鈴木 勇 | 10/10 | 時松 佑兒 | | | | |
| | 制作技術 | | 7/2 | 伊藤 晃二 | 9/12 | 6/18 館 和夫 | 6/17 10/5 | 岡野 正二 | 10/10 10/21 | 小林 修 (運行技術を兼務) | | |
| | 運行技術 | | 7/2 | 園田 修一郎 | 7/1 | 9/30 | 加藤 勉 | 9/29 | | | | |
| | 送信技術 | | 6/15 | 佐藤 文雄 | 10/5 10/15 | | | | 下地 昇 (89、10/21よりリ-タ-兼務) | 10/21 | | |
| | 業務調整 | | 5/30 | 柴田 信二 | 5/12 5/29 | 浦上 浩三 | 10/5 10/15 | | 池城 直 | 10/21 | | |
| 派遣 | 短期 | | 渡辺 晋太郎 11/18—1/18 (運営管理) 齋藤 博巳 12/8—1/17 (美術) | 渡辺 晋太郎 6/30—9/9 (運営管理) | 畠山 哲夫 1/27—3/26 (現像) 稲田 正康 3/13—5/12 (放送資料) | 高梨 二三夫 9/30—11/29 (C-1編纂) 竹内 正明 9/30—11/29 (X射線照明) 遠藤 芳朗 11/4—12/3 (電力設備保守) | 沢田 武松崎 茂 6/8—6/24 11/17—12/24 (送信機操作)(音響効果) 林 彰 篠田 光昭 6/8—6/29 11/17—12/24 (送信機操作)(音声調整) | 島野 紀夫 松田 義明 河野 謙輔 11/5—12/9 5/15—6/17 9/18—10/22 (信頼性と保守)(教育番組)(教育番組) | 末岡多加志 3/12—4/7 (C-1-X17) 若槻 敏夫 3/12—4/7 (建築音響) | 26人 | | |
| *1 調査団 | 実施協議 10/12—10/22 (10/21 R/D締結) | 計画打合せ 11/25—12/2 | 巡回指導 12/12—12/21 | 計画打合せ 9/11—9/29 | 評価 4/5—4/16 (70技協2年延長ミツコ8締結) | 計画打合せ 3/20—3/29 追加懸賞8/0 4/10—4/22 | 巡回指導 2/19—2/28 | 9件 | | | | |
| リーダー会議 | | 白石 克己 1/28—2/2 | 白石 克己 1/20—1/25 | 白石 克己 1/19—1/24 | 長谷川 晃 1/18—1/23 | 長谷川 晃 1/30—2/6 | 池城直(代理) 1/29—2/3 | 6回 | | | | |
| カウンターパート | | Kosasih 1/19—4/15 (TV放送技術) | Sugiyarto KD 7/19—10/30 (放送管理) | Harmen Hary Syahrir 2/7—3/30 (TVグラフィックデザイン) | Kandung 7/18—11/3 (TV制作技術) | Romain Rusdi Elvi L. 8/5—10/6 (教育TV番組) | Martinus S. Djudjur S. 7/20—9/21 1/18—3/18 (教育TV番組)(行政情報システム) | Sunaryo 1/16—4/4 (TV放送技術II) | Rini Wurdijanti 10/17—11/19 (テレビ報道) | 38人 | | |
| そ の 他 項 | BASIC II, III | | | 7/22 | (72人) | 2/18 | | | | 72人 | | |
| | DIPLOMA I | | | 4月 | (40人) | 4月 | (60人) | 4月 | (72人) | 4月 | *3(120+40人) | 452 |
| | DIPLOMA II | | | 4月 | (35人) | 4月 | (36人) | | | | 71人 | |
| その他事項 | 10・21:加計外 発足 | 2/1:専門家 7/30:ビデオ制作導入 | 2/1: 初代所長MR. WILLY A. KARAMOY発令(2/17 兼任) | 12/1—12/3:797教育放送システム | 9/26 第1回合同委員会 | 7/1:2代目所長MR. HOETOJO HOERIP 発令(8/7兼任) | 10/22:2年間の延長に入る | | | | | |

*1. 事前調査 57.6.10~57.6.23(6/21ミツコ調印) *2. 訓練欄中()内数字は訓練生数を示す。*3. 内48人は85年度実施済のBII, III=DI前期のみ終了者72人中40人の後期を実施。*4. C/P研修欄中【 】は集団枠を示す

プロジェクト実績線表 (2/2)

2年延長 ←→ | ←→ 2年再延長 ←→ | 1992年6月

| 細目 | | 年月 | 1990年 (H. 2年) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1991年 (H. 3年) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 1992年 (H. 4年) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 | 延合計 | |
|-------------|-------------|--|---|--|--|-------|-----|
| 専門 家 | 長期 | 番組編成兼報道 | 上野重喜 (90、10/22からはリーダー兼務) | | | 10/21 | 23人 |
| | | 番組制作 | 時松佑兒 | 4/8 4/21 | 小崎俊彦 (4/21まで個別専門家として延長予定) | 10/21 | |
| | | 制作技術 | 小林修 (運行技術を兼務) | 4/21 | 4/21まで個別専門家として延長予定 | 10/21 | |
| | | 運行技術 | 10/9 | 向尾治 (91、4/22からは運行技術兼務) | 10/21 | 10/21 | |
| | | 送信技術 | 下地昇 (リーダー兼務) | 10/21 | | | |
| 業務調整 | 池城直 | 10/9 10/21 | 末満広志 | | 10/21 | | |
| 派遣 | 短期 | 佐々木真理 (3/18-4/21) (スタジオ構成番組) 笹宮雄治 (8/20-9/22) (VTR技術) 浅川玲 (8/20-9/22) (スタジオ技術) [90年度4人] | 榎木丸悟 (3/18-4/21) (ニュース取材編集) 西野泰司 (10/2-12/1) (番組編成) 石井行廣 (10/2-12/1) (スタジオ番組制作) [91年度6人] | 岩鼻幸男 (9/2-10/6) (測定技術) 塩田拓哉 (9/2-10/6) (ラジオ技術) 池谷浩 (3/9-4/15) (音楽芸能番組) 星野昭 (3/9-4/15) (美術スタジオ) 西野泰司 (10/2-12/1) (番組編成) 石井行廣 (10/2-12/1) (スタジオ番組制作) [92年度5人予定] | (中野浩) (7/29-8/13) (保守技術) (玄田雅裕) (8/6-8/19) (保守技術) (加藤好将) (8/12-9/10) (保守技術) (理科番組PD) (保守技術) | 36人 | |
| 調査団 | | 基本設計評価 [D/D] 4/3-4/19 7/5-7/14 [1/25-2/中] 追加無償D/F 6/26-7/5 | 計画打合せ 12/5-12/14 | 評価 6/22-7/1 | | 13件 | |
| リーダー会議 | | (中止) | 上野重喜 1/31-2/7 | | | 6回 | |
| カウンターパート | 研修 | Harmen Hary [BA. Siswanto] (7/10-10/2) (教育TV番組) (TV放送技術上) Nurhaeni (7/10-10/2) (教育TV番組) Bagyo Kristant (7/10-10/16) (TV放送技術I) Endang S. (5/17-7/24) (TV放送管理) [Fatchuri] (6/28-10/2) (スタジオ制作) (TV放送管理) [90年度8人] | Maurice S. (5/13-7/9) (TV放送管理) Siswadi (準高級) (8/27-9/25) (放送管理・編成) Tommy Suprpto Darwanto (10/8-11/12) (TV放送管理) (放送・教育番組) Sudarman (10/8-11/12) (TV放送管理) [91年度6人] | Soeharno (1/13-3/21) (TV放送技術II) Syahrir Kandung (1/13-3/21) (TV放送技術II) Istiyo Hartono (1/13-3/21) (教育TV番組) S. Tugiman (5/14-7/8) (TV放送管理) Hoetojo Hoerip (7/-8) (放送管理・準高級) [92年度5人予定] | Sri Mulyani (7/14-10/) (TV制作技術) Sugeng Rij. (7/14-10/) (TV教育番組) BMO Prayogo (8/-9) (報道番組) [A. Ismanto] (7/14-9/27) (TV放送技術) | 53人 | |
| *2 訓練 | DIPLOMA I | 4月 (120人) | 4月 (120人) | 4月 (120人) | | 692 | |
| | DIPLOMA II | 4月 (36人) | 4月 (48人) | 4月 (60人) | | 179 | |
| | DIPLOMA III | | | 4月 (24人) | | 24 | |
| その他 関連事項 | | ・9/28 第2回合同委員会 ・12/28 追加無償E/N 調印 ・12/13 第3回合同委員会 ・10/22 2年間の再延長に入る ・5/23 追加無償E/N 調印 ・2/29 追加無償引渡式 | | | | | |

JICA